



目 次

I	2014年度 第1回常任委員会報告	1
II	第33回国際農業機械展 in 帯広	1
III	北海道支部 第65回年次大会	2
IV	研究発表会 講演要旨作成要領	2
V	会場への交通機関	3
VI	会費納入のお願い	4
VII	会員異動	4
VIII	北海道支部ウェブサイト	4
IX	E-mail アドレス連絡のお願い	4

I 2014年度 第1回常任委員会報告

2014年度第1回常任委員会を去る5月1日に北大農学部で開催しました。議事として、

1) 編集報告, 2) 農業機械・器具データベース作成委員会活動報告と計画, 3) 第65回(2014年度)北海道支部年次大会・北海道支部シンポジウムの計画(北海道立総合研究機構), 4) 第33回国際農業機械展 in 帯広, 5) 支部ニュースレターの発行計画, 6) 2014年度支部賞および支部賞推薦委員, 7) 2014年度新家憲基金, 8) 2013年度決算および2014年度予算などがあり, これらについて審議しました。

今年度は7月10日～14日まで帯広市にて第33回国際農業機械展が開催され, 農業食料工学会として北海道支部からも多数出展します。また第65回支部年次大会および支部シンポジウムは, 2014年8月21日～22日に岩見沢市で開催されます。

II 第33回国際農業機械展 in 帯広

「次世代農業へ新たなる挑戦」

2014年7月に国際農業機械展が帯広で開催されます。農業食料工学会と農林水産省委託プロジェクト研究「国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト」が招待展示され, 下記メンバーが中心となり参画しますので, 皆様の参加をお待ちしております。

(敬称略)

川村周三(北海道大学), 野口伸(北海道大学), 片岡崇(北海道大学), 樋元淳一(酪農学園大学), 佐藤禎稔(帯広畜産大学), 岸本正(帯広畜産大学), 澁谷幸憲(北海道農業研究センター), 竹中秀行(北海道立総合研究機構), 藤井幸人(生研センター)

1. 出展テーマ

農業および食料生産技術の現在と未来とを展示します。農業(食料)生産は、畑や水田などのほ場での作業から収穫,そして収穫後の農畜産物の加工,貯蔵,輸送を経て生産物(食料)を消費者に届けることで完結します。ほ場での作業には各種の農業機械が使われており,収穫後の工程でも多くの機械が使われています。特に,我が国では農業就業者人口の激減と高齢化による労働力不足は深刻です。このような背景から近年,農作業の自動化・ロボット化の研究開発が進んでおり,安定的な食料生産・供給に欠かせないものとなっています。日本の農業および食料生産に貢献する最新の研究成果を展示します。

2. 開催期間および時間

期間:7月10日(木)~7月14日(月)

時間:午前9:00~午後4:00

ただし最終日は午後3:00まで

3. 場所

「北愛国交流広場」特設会場

帯広市愛国町10番1

4. ウェブサイト

<http://iams-obihiro.com/>

Ⅲ 北海道支部 第65回年次大会

今年度の支部年次大会を以下の要領で開

催いたします。奮ってご参加下さい。支部年次大会実行委員長は、稲野一郎氏(道総研十勝農業試験場)です。なお最新情報は随時支部会ウェブサイト

<http://hokkaido.j-sam.org/ja/>

に掲載致しますので,こちらも参照ください。

1. 期日

2014年8月21日(木)、22日(金)

2. 場所

岩見沢市コミュニティプラザ

(JR岩見沢駅 隣)

3. 日程

8月21日(木)

9:30~15:00 受付(2Fホール)

10:00~12:00 研究発表会

(多目的ホールA、多目的ホールC)

12:00~13:00 幹事会(会議室B)

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 総会

(多目的ホールA)

15:00~17:00 シンポジウム

(多目的ホールA)

18:00~20:00 交流会

(大衆割烹「三日月」)

8月22日(金)

9:00~10:00 受付(2Fホール)

9:30~12:00 研究発表会

(多目的ホールA、多目的ホールC)

4. 参加費

一般:2,000円(講演要旨集を含む)

学生:1,000円(講演要旨集を含む)

5. 研究発表会の発表方法

研究発表はすべて口頭発表とし、2会場で行う予定です。発表は液晶プロジェクタのみを使用して行われます。液晶プロジェクタは会場に準備しますが、コンピュータ

は発表者が準備してください。

発表時間は、1 課題につき発表 15 分
(予鈴 13 分、終鈴 15 分) および質疑 5 分
の合計 20 分の予定です。

6. 講演申込み期限

講演要旨とその抄録の提出 (IV - 4. 参
照) をもって講演申込みとします。申込み
期限は 2014 年 7 月 11 (金) です。

7. 年次大会参加申込み

農業食料工学会北海道支部のウェブサイ
ト (推奨) , または別紙の参加申込書に従
い Email や郵送で農業食料工学会北海道支
部第 65 回年次大会事務局 (白旗) 宛お送
り下さい。諸費用は当日受付でお支払い願
います。

8. シンポジウム

「水田作地帯における ICT 農業の展開」
2014 年 8 月 21 日 (木) 15:00~17:00

(1) 基調講演 農林水産省委託実証事業
「道産米の国際競争力強化と持続的
輪作体系の両立に向けた実証」について
北海道農業研究センター 村上則幸氏

(2) 他 2 名 (予定)

年次大会と同様、別紙参加申込書に従い、
2014 年 7 月 18 日(金)までに農業食料工学
会北海道支部第 65 回年次大会事務局まで、
お申込み下さい。

参加費は年次大会参加費と共通で 2,000
円 (資料を含む) です。またシンポジウム
のみ参加希望の方については、参加費は無
料ですが、資料代として当日 1500 円頂き
ます。

IV 研究発表会 講演要旨作成要領

1. 用紙、ページ数、余白

研究発表会における一般講演の要旨は、
1 課題あたり A4 判用紙で 2 ページとする。

講演要旨はワードプロセッサを用いて、
A4 判白紙に上下左右の余白を 25mm とし
て作成する。

2. 題名、氏名、キーワード、字数行数

講演要旨の最初のページの最上行左端を
5cm 空け (後に講演番号を入れる)、題名
を表示する。副題がある場合は次行に表示
する。

空白行を 1 行入れ、その次行に発表者の
所属氏名を右寄せに表示する。その次行に
[キーワード] を左寄せに表示する。連名
の場合は講演者氏名の前に○を付ける。キ
ーワードは題名と重複しない重要な単語を
3~5 語表示する。

空白行を 1 行入れ、次行から本文を表示
する。本文の文字は明朝体 11 ポイント、
40 字×40 行を標準とし、横書きとする。
本文の構成および項目番号などは原則とし
て次の例を参考とする。講演要旨は A4 判
そのままの大きさで白黒印刷される。

1. はじめに (緒言、目的、など)

2. 方法

(1) 試料

(2) 装置

3. 結果と考察

4. まとめ (おわりに、要約、結論、今
後の課題、など必要に応じて)

文章中で箇条書きが必要な場合には

1) 2) 3) とする。

また、必要に応じて① ② ③を用いる。

3. 抄録

後日、支部会報に研究発表の抄録を掲載
する。そのため講演要旨とは別に研究発表
の抄録を作成する。抄録は発表題名、発表
者所属氏名および抄録本文とする。抄録本
文は目的、方法、結論を 200 字以内で述べ
る。

4. 講演要旨と抄録の送付

講演要旨 (A4 用紙に印刷したもの) と

抄録 (PDF (推奨) あるいは MS Word 形式) を 下記の北海道支部事務局編集担当宛 に E-mail 添付もしくは郵送する。ただし、事務局で添付ファイルを正しく読み取れない場合は、郵送を求める場合がある。

送り先:

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学 大学院農学研究院
生物生産工学分野内
農業食料工学会北海道支部事務局
編集担当 (清水) 宛
Tel & Fax : 011-706-3848
Email : jsam-hk@bpe.agr.hokudai.ac.jp

申込み期限: 2014年7月11日 (金)

V 会場への交通機関

JR利用の方

岩見沢駅下車
(札幌駅から 普通 45分、特急 24分)

お車の方

コミュニティプラザ西側のコミュニティ西
駐車乗 (有料 最初の1時間まで210円、
以後30分毎に100円) をご利用ください。
以下のページにアクセスマップがあります。
岩見沢市コミュニティプラザ
<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/i/sangyo/sisetu/nwc/index.htm>

VI 会費納入のお願い

平成26年度分の支部年会費納入をお願いします。年会費は2,000円です。なお、平成25年度までの年会費を未納の方は、併せて納入下さい。

- ゆうちょ銀行
振替口座 02760-3-19402
口座名 農業機械学会北海道支部
- 北洋銀行北7条支店

普通預金 0085089

口座名 農業機械学会北海道支部

会費に関するお問い合わせは、
会計担当幹事 岡本

Tel : 011-706-2568

Email : hiro@bpe.agr.hokudai.ac.jp

までお願いします。

なお口座名称は、今年度については旧学会名称のまま使用しています。

VII 会員異動

1. 新入会員 (2013.7.9~2014.6.3)

唐橋 需 (鳥取大学名誉教授)

仁平尊明 (北海道大学文学研究科)

2. 退会 (2013.7.9~2014.6.3)

(1) 個人会員

吉田一男 (名誉会員・御逝去), 松居勝広
(名誉会員・御逝去), 国岡浩由, 高橋清治,
穴吹雅典, Ahamad Ali Al-Mallahi,
新井 滋, 五十嵐龍夫, 石田茂樹, 小林
充, 竹内崇通, 武川嘉一, 棚橋 徹, 西崎
邦夫, 吉町晃一

(2) 特別会員

(株)札幌オーバーシーズ・コンサルタント,
(株)システムブレイン

VIII 北海道支部ウェブサイト

農業食料工学会北海道支部ウェブサイトが新しくなりました。新 URL は下記の通りです。今後も会員サービスを充実させていきたいと思っておりますので、宜しく願い致します。

<http://hokkaido.j-sam.org/ja/>

IX E-mail アドレス連絡の御願い

会員の皆様へのニュースレター、年次大会、シンポジウム、その他各種行事などのご案内を迅速に行うとともに、通信費を節

約するために電子メールにての配信を行っています。支部事務局へ E-mail アドレスを通知していない会員もしくはアドレスが変更になった会員で、メールにて各種案内、ニュースなどの配信を希望される方は支部

事務局 (jsam-hk@bpe.agr.hokudai.ac.jp) まで会員名、E-mail アドレスをご連絡願います。

別紙

農業食料工学会北海道支部第65回年次大会 参加申込書

ウェブサイト：<http://hokkaido.j-sam.org/ja/>

E-mail：jsam-hk-taikai2014@bpe.agr.hokudai.ac.jp

(注：講演要旨/抄録提出用アドレスとは異なります)

郵送先：〒069-1395 長沼町東6線北15号

独)北海道立総合研究機構 中央農業試験場内

農業食料工学会北海道支部第65回年次大会事務局(白旗)宛

申込方法；農業食料工学会北海道支部のウェブサイト(推奨)，または本参加申込書に従い Email や郵送で農業食料工学会北海道支部第65回年次大会事務局宛お送り下さい。E-mail の場合，タイトルには「第65回年次大会参加申し込み」と記入し、下記の内容が分かるように整理して記述ください。参加費等は当日受付で申し受けます。

参加申込締切り；2014年7月18日(金)

氏名	所属 勤務先	参加・必要項目に○を記入してください				
		8月21日(木)				8月22日(金)
		研究発表 会	幹事会*	シンポ ジウム	懇親会	研究発表会

参加費：研究発表会・シンポジウム 一般：2,000円、学生：1,000円

懇親会費：未定ですが、昨年(一般：4,500円、学生：3,000円)とほぼ同程度にする予定。

*幹事会：幹事の方は記入ください。幹事会出席者には弁当が準備されます。